

巾着田～天覧山山行報告



【山行日】2017年 9月 21(木) 晴れ

【集 合】岩舟支所P AM 7:00

【費 用】マイカー1台 : 2,000円

【メンバー】CL:鈴木、石田、大西、島田、関、
福田ケ、福田タ

【コースタイム】岩舟支所 P7:00 = 巾着田
P8:15/8:30～巾着田散策 9:50～高麗峠 10:30～
天覧山 11:05/11:15～多峯主山 12:00/12:30～
巾着田 P14:00 = 岩舟支所 P16:00

9月初めの宝篋山山行の時に、「巾着田の曼珠沙華を見に行きたいね」という話があったそうだ。「曼珠沙華の時期に合わせて計画して」と言われ、ネットで開花状況を調べ21日に計画した。20日が良いと思ったが、20日は交通規制があり駐車場も使用不可となっており、21日に決めた。

後日分かったことだが、20日は天皇陛下ご夫妻が巾着田の曼珠沙華を見学に寄られたとのことだった。東北道から圏央道を進み、日高ICで降りるとインター出口が渋滞していた。「皆巾着田に行く車かな？」などと心配しながら進むと、県道が渋滞して出られなかったようだ。予定より早く着き案内係の指示に従って、駐車場に車を止めた。予定した駐車場と反対側だが、係員の指示なので仕方がない。歩く準備をしてからストレッチを済ませ出発する。真ん中の出入り口から



入場券を買って曼珠沙華群生エリアに入る。まずはトイレを済ませ、北に向かって下流エリアの曼珠沙華を見に行く。曼珠沙華まつり会場の横を通り、下流エリアの群生地に入ると「ウワ～～綺麗」と歓声上がる。一番見頃の時期に当たり、朝の陽光を受け見事な赤い絨毯が広がっていた。



初めて見るSさんやF田さんは、「こんなに凄かったんだ」と驚いていた。早朝でまだ混雑は無く、ゆっくりと歩きながら赤い絨毯の曼珠沙華を楽しむ。アイアイ橋まで行ったら折り返し、今度は南に向かって上流エリアへ進む。途中のまつり会場が始まり、飲食店や物産展が開いたので会場の休憩所でコーヒブレイク。I田さん持参のコーヒート、F田さんのチョコを美味しくいただく。物産展を一通り見て回り、トイレを済ませたら上流エリアへ向かう。上流エリア群生地の方が広く、

少し傷んできたがまだまだ素晴らしかった。上流エリアを抜けて土手を越えるとコスモスの群生地に出る。コスモスの間を縫うように歩き、土手を登り返して高麗川の河原沿いの道を歩く。再び上流

エリアの出入り口から入場し、曼珠沙華の群生地を歩きドレミファ橋に向かう。ドレミファ橋はその名の通り飛び石で渡ったが、現在は飛び石の上に木の橋で覆われ安全に渡れるようになっている。

高麗川の清流を渡り、反対側の斜面を登ると高麗峠への標識がある。ここから奥武蔵自然歩道を歩き、天覧山から多峰主山へと登る。

高麗峠への道は広く整備された道で、道標も沢山あるので迷うことなく歩ける。高麗峠の手前に分岐があり、左は宮沢湖方面で我々は右の高麗峠へ向かった。峠にはベンチがあり、小休止して水分を補給する。ここからは歩き易い道を緩やかに下り、開けた草地を過ぎた所を右に曲がり樹林帯の道を下ると広い道路に出る。道路を渡りそのまま歩道を300mほど歩くと、右に道標があり山道に入る。



樹林帯の道を登って行くと平らな広い場所に出て、多峰主山への尾根コースとの十字路になっている。直進した先にベンチがあり、小休止してエネルギーを補給する。ここからほんのひと登りで天覧山山頂に着く。山頂には展望台が設けられ、奥多摩の山々や飯能市街の展望が広がる。



多くの人が居て、フィールドスコープで野鳥の観察をする方々がほとんどだった。ここから北に向かい、東屋を右に見て急な木段を下り西ノ谷の湿地へ出る。湿地を右にせせらぎに沿って進み、田舎の原風景を見ようがないやされる道だ。ハンノウザサの茂る谷奥から小尾根に取り付き、滑りやすい見返り坂を登るようになる。左山腹の女坂を左に分け、右に露岩交じりの男坂を登れば多峰主山山頂は近い。急坂で疲れた人たちはゆっくり登るので、健脚組は先行して山頂のベン

チを確保する。

中央に経塚が建つ多峰主山は東南に開け、飯能市街の展望や東京のスカイツリーまで遠望できる。ベンチのテーブルでチタケうどんを作り、F田さんお手製のお稲荷さんと一緒に美味しくいただく。

ランチが済んだら山頂で記念写真を撮り、山頂から西に降りて行き分岐を右に進むと水道山の脇に降りる。ここから住宅街の舗装道の歩道を歩くようになり、緩やかに下って行くと高麗駅に出る。

高麗駅から細い路地を進むが、ここからは大勢の観光客が駅に向かって歩いてくるのでぶつからないよう歩く。路地には露店が何軒もあり、買い物しながらのんびり歩いて巾着田に行く。駐車場は巾着田の反対側にあるので川に沿って歩き、土手の上から曼珠沙華の群生地を見ながら戻った。

平日でも人も車もいっぱい、土日は車が動けないのではと心配してしまう。今回は日和田山と物見山へ行かず、反対側の天覧山と多峰主山のコースを歩いたが、標高が低くシルバー隊にはうってつけのコースだった。帰りは渋滞も無く順調に走り、予定よりも早く岩舟支所に帰着出来た。